

▼剣道女子団体の皆さん。左上から中尾さん、福島彩花さん(1-4)、辰巳菜々子さん(1-1)、小椋咲樹さん(1-7)、左下から清水優花さん(2-8)、青木さん



県大会での大躍進 剣道女子団体が3位に

1月15日に滋賀県立体育館で開催された平成28年度滋賀県高校剣道優勝大会で、本校剣道部が男子団体と女子団体に出場して男子団体ではベスト16、女子団体は第3位という結果を収めた。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

昨年の10月28日に行われた秋季総体での女子団体の結果は圏外だったそうで、大将を務めた青木萌子さん(2-1)は試合を「前回負けた比叡山高校との試合では、先鋒は取る、といった作戦を立てて積極的な気持ちで挑んだ。前回相手と向き合うと頭が真っ白になってしまふ人が多かったが、今回は成長を見せてくれた。特に次鋒の子の成長がすごく、その子のおかげで勝った部分もあると思う」と振り返った。

大会で次鋒を務めた中尾まこさん(1-4)はこの言葉を受けて「前回の大会を踏まえたアドバイスを先輩に頂いて、新たに確立できた得意技を出せた。でもまだまだ未熟なので少しでも先輩に近づけるようになりたい。次の大会では自分の剣道をして頑張りたい」と話した。

また青木さんは「今回の比叡山高校との試合では私の番が回ってくるまではただ応援しており『回してくれ、回してくれ、回してくれ』と何とかする」と話した。

「チームの課題点は取らなければいけない要素所で取れないこと、緊張が勝ってしまうこと、技術力が乏しいこと。自分が知っている技を教えることで、一人ひとりがこれだったらできるという技を増やして得意技にしてほしい」と話す青木さんは、最後に部員へ向けて「次は近畿大会があるので、ちよつとでも自分が成長できるような試合をしよう」とメッセージを送った。

という気持ちで見ている。回ってきたときは1本でも取られてしまえば相手校が勝つてしまふ状況で、自分が相手から2本取らないといけなかった。相手の大将も弱くはなかった。のでピンチだったが『回してくれたら何とかする』と言っていたので」と胸をたたいて誇らしげに話した。



▶大将を務めた青木さん